

- ▶ 岸和田市では、不在地主・高齢人口の増加で、手入れ不足の人工林が増え、土砂災害の発生の危険性が高まっていることから、森林環境譲与税を財源として、森林組合等における間伐を支援するとともに、経済ベースで成り立たない森林については、森林経営管理制度に基づく間伐を進めていく方針。
- ▶ 令和2年度は、森林所有者意向調査事前準備業務を行ったが、令和3年度においては、以下の取組を実施。
  - ・ 令和2年度に完了した「森林所有者意向調査事前準備業務」の成果品に基づいて、特定された森林所有者に対して、郵便等の方法で意向調査を行なった。

## □ 事業内容

### 1 森林所有者意向調査業務。

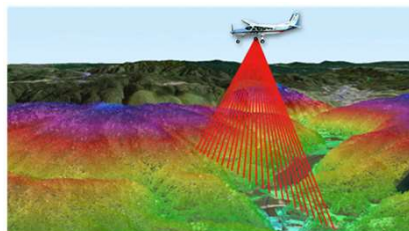
【事業費】4,873千円（全額譲与税）

【実績】

- ・ 業務対象面積 4.42km<sup>2</sup>
- ・ 意向調査調査対象人数 292件
- ・ 実施期間 令和3年10月15日～令和4年3月31日



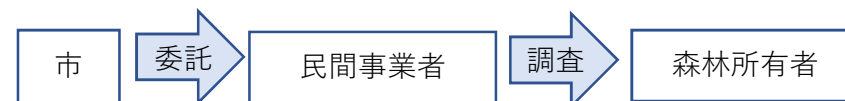
（写真1：説明会）



（写真2：計測模様）

## □ 事業スキーム

1 森林所有者への意向調査



## □ 工夫・留意した点

- ・ 森林調査だけでなく、所有者に林業の成長産業化と森林資源の適正な管理を図るため、植栽後管理が行き届かない森林に対して間伐等を推進した。
- ・ 意向調査において何より集計・回答率が大事。発送して回収するだけでなく、不届日後の未提出・不明案件についてリストを作成し、所有者に負担が掛からないよう更に簡素化して催促状の配布に努めた。

## ◇ 基礎データ

①令和3年度譲与額	18,899千円
②私有林人工林面積（※1）	1,175ha
③林野率（※2）	26.7%
④人口（※3）	190,658人
⑤林家数（※4）	156家

※1、2：「2020農林業センサス」より、※3：「R2国勢調査」より、  
 ※4：「H27年国勢調査」より